

米づくり情報（NO. 7）

令和4年7月28日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況（アメダス観測地：伊万里）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
7月	3	26.1	27.4	30.0	30.9	23.1	24.6	59.0	3.5	23.5	12.5
	4	26.7	26.6	30.9	29.9	23.5	22.9	42.4	134.5	28.3	16.9
	5	27.2	26.7	31.6	30.4	23.9	23.0	39.1	6.0	32.3	33.0
	6	27.6	—	32.1	—	24.2	—	44.3	—	41.4	—
8月	1	27.8	—	32.5	—	24.2	—	34.7	—	34.9	—
	2	27.8	—	32.5	—	24.2	—	38.7	—	33.4	—

【7月気象概況】

- 平均気温は、4半旬以降は平年並み～0.5℃ほど低く推移した。
- 日照時間は、平年より少なく寡少傾向となった。
- 降水量は、4半旬は多雨となり、それ以外は少雨傾向となった。

2 生育状況（7月27日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/1 移植 東山代町脇野	本年値	87.9	407	12.8	37.4	<ul style="list-style-type: none"> • 草丈は、平年並み • 茎数は、平年よりやや多い • 主稈出葉数は平年よりやや多い • 葉色は平年よりやや淡い • 葉耳間長 -5 cm
	平年値	87.1	377	12.4	38.0	
	平年比	101	108	+0.4	-0.6	
ヒノヒカリ 6/20 移植 松浦町桃川	本年値	68.3	407	10.7	42.7	<ul style="list-style-type: none"> • 草丈は、平年より高い • 茎数は、平年より少ない • 主稈出葉数は、平年並み • 葉色は平年並み
	平年値	54.8	490	10.7	42.6	
	平年比	125	83	±0.0	+0.1	
たんぼの夢 6/16 移植 松浦町桃川	本年値	70.1	462	10.1	40.6	<ul style="list-style-type: none"> • 草丈は、平年より高い • 茎数は、平年より少ない • 主稈出葉数は、平年より少ない • 葉色は、平年より淡い
	平年値	63.9	502	10.6	43.4	
	平年比	110	92	-0.5	-2.8	

（耕種概要）

※夢しずくの耕種概要は稲作情報 No.1、ヒノヒカリ・たんぼの夢の耕種概要は稲作情報 No.3 を参照。

3 今後の管理

1) 山間早植え水稻（5月上旬移植）

- 早いところではすでに出穂期を迎えている。
- 最も用水量が必要な時期であるため、出穂 10 日後までは間断灌水の湛水期間を長めにとる。出穂開花期頃の干ばつは、不稔粉の増加の原因となるため、穂ばらみ期に次いで用水確保が重要となる。
- 用水確保が難しい地域は、出穂後 1～3 日、出穂後 10 日～15 日、できれば糊熟期（粒を押しつぶすと粘り気の強い糊状となる時期）に重点的に走水を行い、被害の軽減に努める。

2) 普通期水稻「夢しずく」

- 穂ばらみ期を迎えている。
- 穂孕期から穂揃期にかけては、イネの用水要求度が最も高い時期である。水が切れることがないように圃場の水管理を徹底する。
- 用水確保が難しい地域は、最も水を多く必要とする出穂7日前～14日前に、最低でも散水、可能であれば走水を行い、できるだけ黒乾状態を保つ。

3) 普通期水稻「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- 有効茎（茎数が 1 株 20 本程度）が確保できた圃場から順次中干しに移行する。
- 高温と乾燥が続いているため、深い亀裂が入り、白乾している圃場が見受けられる。強い乾燥は、断根につながるため、中干しの強度は、軽く足跡がつく程度の黒乾燥状態を保つ程度とする。
- 用水の確保が難しい地域は、自然落水とし、水尻は完全に落とさないようにする。



白く乾燥し、深い亀裂が入った圃場

- 早いところではまもなく幼穂形成始期を迎え、用水が必要となるため、遅くとも移植後 40 日頃までには中干しを終えるようにする。
- 幼穂形成始期を迎えた圃場では、次の穂肥診断基準をもとに穂肥を施用する。

「ヒノヒカリ」穂肥診断基準

幼穂形成始期の草丈(cm)	葉色		施用時期		穂肥施用量(kg/10a)	
	群落	SPAD-502	出穂前日数	幼穂長	窒素成分量	BB602
80cm以下	3.0以下	34以下	24～20日前	1～2mm	3.0	18 kg
	3.0～3.4	35～38	20～18日前	3～5mm	3.0	18 kg
	3.5～3.8	39～40	18～14日前	5～15mm	2.0	12 kg
	3.8以上	41以上	16～13日前	15～30mm	1.0以下	6 kg
80cm以上	3.0～3.4	35～38	20～18日前	3～5mm	2.0	12 kg
	3.5～3.8	39～40	18～16日前	5～15mm	1.5	10 kg
	3.8以上	41以上	16～13日前	15～30mm	1.0以下	6 kg以下

「たんぼの夢」穂肥施用基準

幼穂形成始期の草丈(cm)	葉色		施用時期		穂肥施用量(kg/10a)	
	群落	SPAD-502	出穂前日数	幼穂長	窒素分量	BB602
65cm以下	3.8以下	39以下	22~20日前	2~3mm	3.0	18 kg
	3.8~4.2	40~41	18~15日前	5~15mm	1.5	10 kg
	4.2以上	42以上	施用しない			
65cm以上	3.8以上	39以下	22~20日前	2~3mm	1.5	10 kg
	3.8~4.2	40~41	18~15日前	5~15mm	1.0以下	6 kg 以下
	4.2以上	42以上	施用しない			

※ 草丈は幼穂の伸長程度より幼穂形成期（幼穂長1mm）を基点に、前後1日当たり1cm増減する。

※ 止葉が抽出し終わった後は施用しない。

※BB602の施用量は栽培ごよみに準じている。

※穂肥は湛水状態で施用し、最低4日間は止水し落水しない

4) 共通

○主な病害虫の防除適期

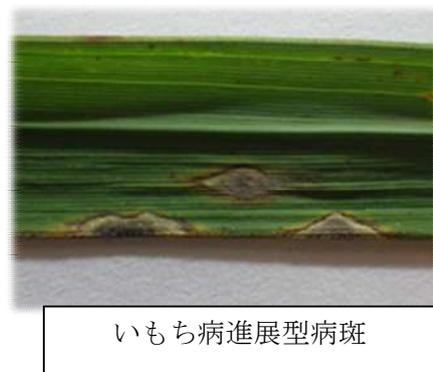
- 圃場での病害虫の発生状況を確認し、防除時期を逸しないよう注意する。
- 農薬の使用にあたっては、使用する農薬の登録内容を遵守する（特に収穫前日数に注意）。

病害虫名	稲のステージ	出穂前後日数							
		-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20
紋枯病	並発生の場合	←→							
	多発生の場合	←→			←→				
穂いもち	並発生の場合			←→					
	多発生の場合			←→		←→			
カメムシ類	並発生の場合							←→	
	多発生の場合					←→		←→	

図3 紋枯病、穂いもち、カメムシ類の防除適期

○いもち病

- 7月中旬から曇天が続いたことにより、草丈が平年よりも高く推移しており、葉がうっぺいした圃場では、葉いもち病の発生が確認されている。
- 7月27日までのBLASTAM情報（気象条件のみによって葉いもちの発生を予測するシステム）によると、伊万里では7月以降、複数回感染準好適条件が観測されている（好適条件が観測された1週間後に初発生や病斑数の急激な増加が予想される）。
- 田周りを行い進展型病斑が確認された圃場では、オリブライト粒剤等（収穫前45日、出穂10日前まで）で速やかに防除を行う。

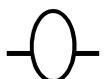


いもち病進展型病斑

○ウンカ類

- ・トビイロウンカの飛来が確認されており（p5 トラップ捕獲状況の通り）、この飛来波の今後の発生予測は p6 のとおりである（発生予測図は 7 月 20 日更新）。
- ・今後の飛来状況および気象条件により、発生予測図は随時更新される。
- ・防除時期については、今後の飛来状況や圃場条件（移植時期や品種、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量が異なるため、注意深く圃場を観察する。

ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウンカ	白っぽい	灰白の斑紋	 : 真横
トビイロウンカ	白っぽい	薄茶か茶褐色	 : 真横～やや斜め後ろ
ヒメトビウンカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐色 (体側の色が濃い場合あり)	 : 斜め後ろ

		トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
成虫		 長翅雌  短翅雌		 雌  雄
幼虫	若齢			
	中齢～老齢			

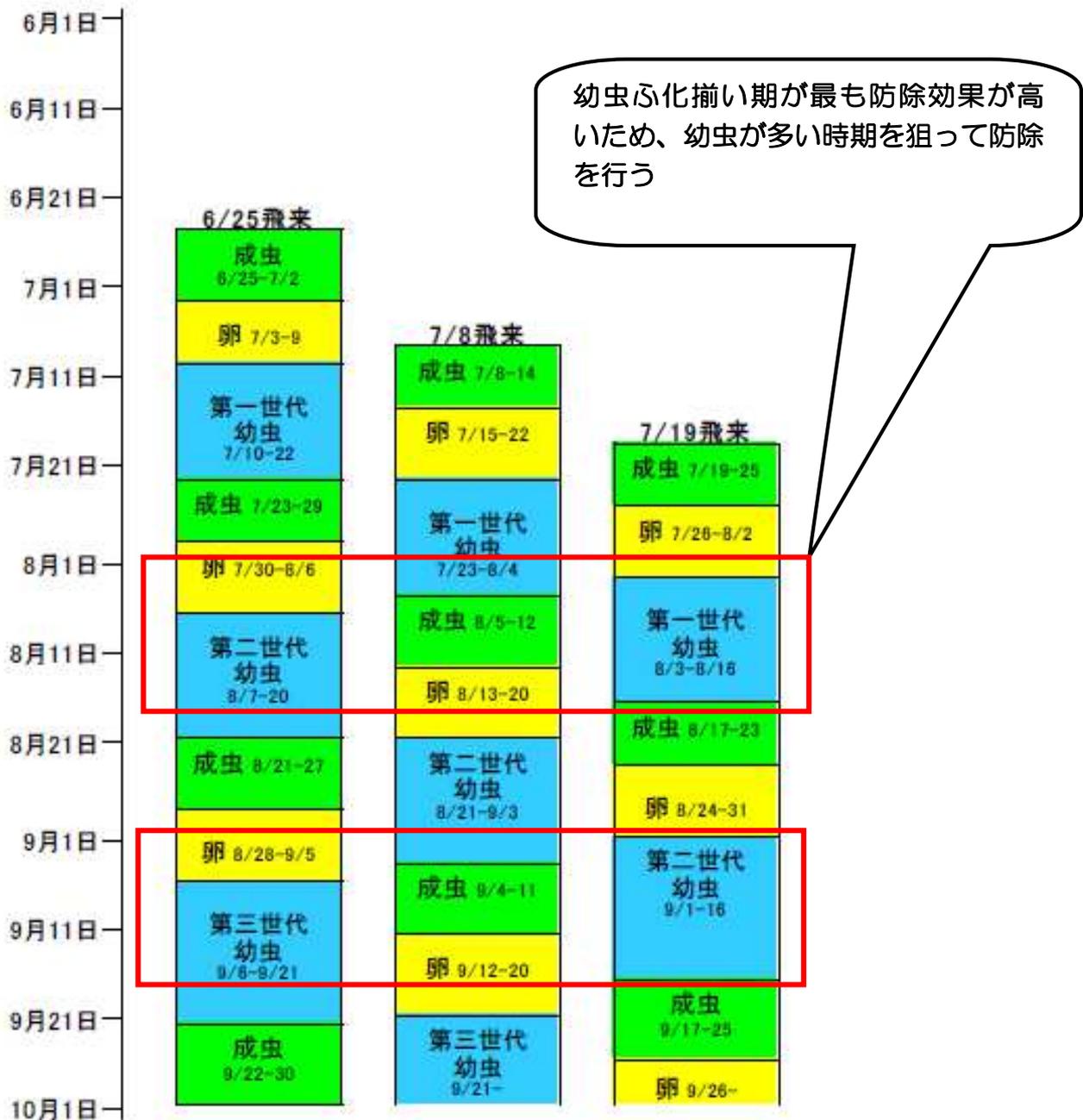


図1 トビロウカ各世代の発生予測(第3版、2022年7月20日作成)

1. 6月23～25日頃(図では6月25日)、7月8日頃、7月19日頃の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(7月20日以降は平年値)を基に作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の飛来状況や気象経過等に応じて、本図は随時更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

令和4年産水稻生育期間気象グラフ (アメダス：伊万里)

西松浦農業振興センター

